

アコヤガイ天然種苗の大量採苗手法に関する研究

研究部

背景、目的

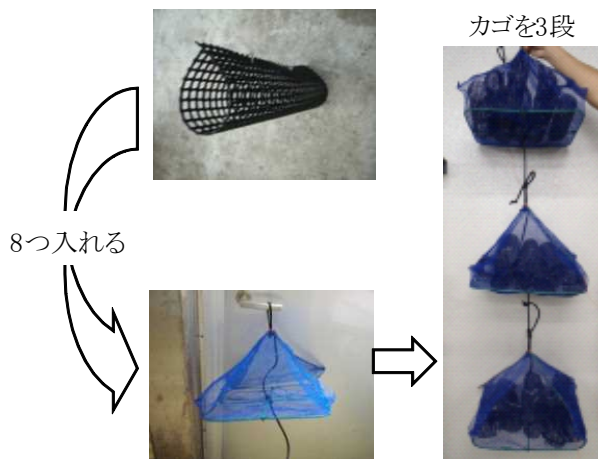
真珠養殖を持続的に発展させるためには、採苗にかかる作業の軽減や低コスト化と併せて、種苗を採苗早期に安定して確保することが必須条件です。

そこで、天然採苗の作業軽減と低コスト化が可能な稚貝付着基質、および採苗場所の拡大について検討しました。

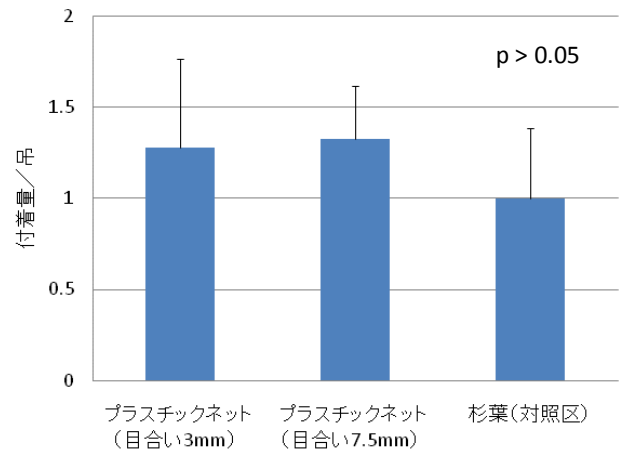
成果の概要

(1) 稚貝付着基質

腐食する杉葉の代替材として、再利用が可能なプラスチックネットを用い採苗試験を実施しました。その結果、目合い3mmまたは7.5mmのプラスチックネットを筒状に加工し提灯カゴに入れた基質で、杉葉よりも多く採苗できました。



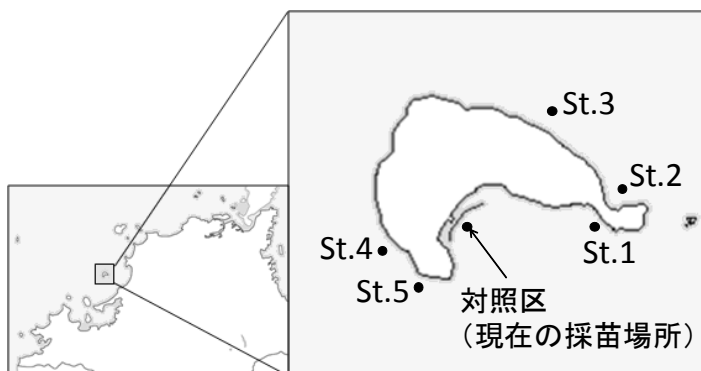
プラスチックネットの採苗基質



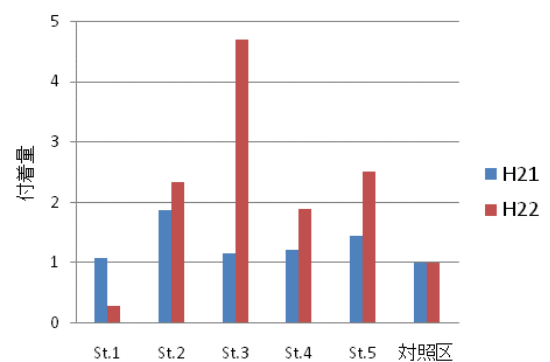
採苗試験の結果

(2) 採苗場所の拡大

相島周辺で採苗試験を行った結果、島の北東部 (stn. 2~3) では現在の採苗場所よりも2倍程度多く採苗されました。これら場所を有効活用することで、早期に安定した採苗が可能と考えられます。



採苗試験の場所



調査点別稚貝付着量